

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
田原市児童発達支援センター		令和7年 3月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令を遵守しています。 ・十分なスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令を遵守しています。 ・指定基準を満たし、適切です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・機会を捉え、職員で話し合いを重ね環境の再構成をしています。 ・場面に応じてパーテーションを利用し、今すべきことに目が向くような空間作りをしています。開けてはいけない、入らない場所など、一目見て分かる提示で示しています。	・現在の利用児には支障はありませんが、身体障害のある児童の受け入れの際にはトイレや駐車場等のバリアフリー設備の改善が必要であり、検討します。 ・内線電話（療育棟）の設置が必要であると思われ、改善に向けて検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動に応じてパーテーションを使用して、子ども達に分かりやすい空間作りをしています。 ・室内に畳のスペースを用意し、そこで寝転んだり、絵本を読んだり等、児童がリラックスできるようにしています。 ・毎日の清掃、必要に応じた消毒等を実施し、清潔な環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・空き部屋を利用し、気持ちが崩れた時にはいつでもクールダウンができる場所として使用しています。そのような工夫ができることを保護者にも伝え、活用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・全体カンファレンス、各チームカンファレンスを行い、PDCA サイクルを意識しながら振り返りを行っています。	・幅広く職員が集まって話し合いをすることが課題です。これは、業務上難しい側面がありますが、それをカバーするために書面や口頭等で伝達し、広く職員が参画できるように今まで以上にしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に1回実施し、ご要望ご意見を踏まえた改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝の打ち合わせ、支援後の振り返り、週に1回の全体カンファレンス等の機会を利用し、職員間での情報共有を行い業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			・第三者による外部評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・積極的に情報の提供を行っています。 ・内部、外部研修を計画、実施しています。 ・職員のスキルアップのための支援方法や安全確認、虐待防止、感染症対策研修等を定期的に実施しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・ご本人や保護者のご意向を丁寧にお聴きし、支援者で話し合いを重ね、個々の児童の発達にあった支援計画を作成しています。また、ご本人、保護者のニーズ、課題を様々な職種の職員の専門的視点から分析し、取り入れています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ご本人に関わる支援者が共通理解をし、現状に合わせた最善の支援を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援会議や全体カンファレンスなど、全職員が現状の把握をし、児童発達支援計画に関する情報共有をしています。 ・朝の打ち合わせにより、計画に沿った支援を行っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインに基づき、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各チームの担当者が参加し、それぞれの児童への必要な支援をシュミレーションしながら、活動プログラムを作成しています。 ・適切な療育方法を各チームで検討、立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・繰り返して行うことにメリットのある活動と、飽きのこない活動内容を組み合わせてプログラムを作っています。	・日頃から活動プログラムが固定化しないようにしていますが、固定化していないことがわかるように利用者の方に丁寧に説明していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・ご本人の状況に応じて個別と集団の活動を組み合わせた支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・活動を円滑に進めるために支援者の動きや準備を共有している。個別に応じて支援内容を確認し、ご本人や保護者の対応など、細かな支援方法を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後やカンファレンス等を利用し、支援方法の見直し、環境の再構成等を検討、実施するようにしています。	・毎日振り返りは随時行っていますが、十分な時間を確保して行うことが課題です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援の項目別に、記録をとり、ご本人の様子、支援方法の検証等を職員間で情報共有し、支援方法の見直しや遊びの提供の改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行い、保護者と共にご本人の発達を確認し、個別支援会議で支援内容の見直しについて検討しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者と担当職員が参加できるようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・連携を取りやすいよう、常に関係作りに努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・個別支援計画の情報共有をしたり、互いに施設を行き来し、様子を見たり支援内容について情報共有している。また、個別にケース検討を行いご本人が安心して併用できるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の承諾を得て、関係職員が訪問をし、ご本人が安心して過ごすことができるよう環境や支援方法を一緒に考えたり、情報共有をしたりしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・地域の事業所に児童発達支援センターで行われる研修への呼びかけを行っています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・定期的に自立支援協議会に出席しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・地域の子ども達と交流が可能か検討し、実施していくことが課題です。子どもの負担が大きくならないように配慮した交流を検討していきたいと思います。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者との話し合いの機会を積極的に持つようにし、ご本人の状況、課題など共通理解を図ることができるようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・児童発達支援センター分館と共同で、ペアレント・プログラムを実施しています。また、看護師、言語聴覚士、臨床心理士、外部講師による保護者向けの研修を実施しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者の思いや考えを聞きとりながら作成し、その中でご本人の姿を思い浮かべ、ご本人の想いや意思を尊重した計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画の提示の際は、モニタリングから聞きとったニーズに合わせた目標設定を行い、支援内容についても分かりやすく説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・交流会やリフレッシュタイム、OB会を開催し、保護者同士が気軽に話しかける時間を作っています。 ・親子通園を利用する保護者には、療育時間内に子どもから離れて過ごすリフレッシュタイムを設けています。利用する曜日によって利用者が変わるため、開催日が固定化しないようにしています。	・きょうだい同士での交流の機会を設けていないため、今後きょうだい同士で交流する機会を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者から申入れがあった場合は日程調整及び対応調整をし、速やかに対応できるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・園日よりHP等で活動内容や活動のねらい等の情報の発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ご理解していただくことができるように、それぞれに適した方法（分かりやすい言葉づかい、ゆったりとした話し方、文字や図、絵等の視覚的にわかりやすいツールの使用等。）を考え、対応するようにしています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・現時点では実施が難しいですが、今後地域に開かれた事業運営を行えないか検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルに沿って周知、訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月、様々なパターンの非常災害を想定した訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・アセスメント時に確認、把握するようにしています。医療の専門性が必要な場合は、看護師もアセスメントに同席しています。 ・入所時、アセスメントシートを保護者に記入してもらい、ご本人の医療情報を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づいて訓練、確認を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・定期的にヒヤリハット事例を挙げ、分析等を行い、情報共有し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎月1回、虐待防止研修を行い、職員の意識の向上に繋がっています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・どのような行為が身体拘束にあたるのか職員間で確認し、児童発達支援計画に記載し保護者に説明をしています。	